

井出 明

首都大学東京 准教授

高齢化社会に即した観光コンテンツの研究と開発

本研究は、高齢者の観光に関して、望ましい観光内容（コンテンツ）を提供するための体系的な研究である。一般に高齢者は旅行好きであり、旅を指向されている。しかしあらゆる観光形態が高齢者にとって望ましいわけではなく、そこには当然体力を主要因とした問題点も存在する。本論文では、どのような旅が高齢者に実際に適しているのかという観点から、論考をまとめてみた。具体的な章立てとしては、3つの章で構成されている。1章では、これまでの高齢者に関連する旅行・観光関連行動を批判的に検討した。続く2章においては、今後、高齢者が採るべき観光行動の方向性について、具体的な提言を行っている。最後の第3章では、受け入れ側で活躍する高齢者に光を当て、高齢者が地域観光を支えているという頼もしい現実を紹介している。全編が現地調査に基づいており、助成の趣旨を活かしたフィールドワークを展開している。